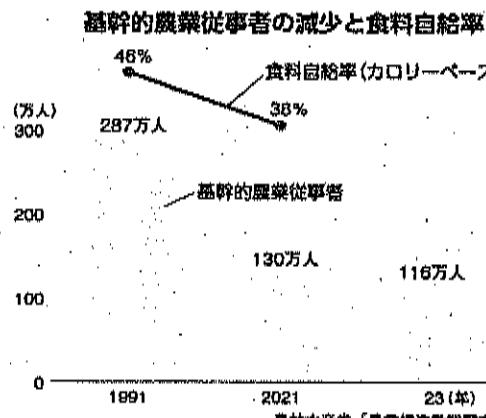


シリーズ 財界のもうけ最優先の政治を問う



担い手の減少・高齢化・自給率低下

國の命を支える幹部の生産を担う農業の危機感が深まっています。相手の減少で商品化が進み、食料供給網全体に悪影響が及んでしまいます。こんな日本農業は誰がしたのか。(内田義司)

こんな悪業に誰がした

## 米国の食料戦略にも屈服し

## 日本共産党 質問主意の稿子

日本共産党国会議員団が8月23日に行つた「食料自給率の向上を農政の柱に据え、農政の基本方向の転換を——國の農政晃腐しにあたっての申し入れ」の発表は次のとおり。

- 食料自給率向上の目標を投げ捨てるのではなく、国政の中心課題に据える
  - 堅実ない輸入自由化路線を転換し、食料主導を回復する
  - 価格保証・所得補償など、世論を絶え、農村で暮らしの土台の整備を政府の責務にする
  - 農業の担い手政策の目標を多様な担い手を多数維持することに置く
  - 環境や生態系と調和した持続可能な農業を農政の土台に据える
  - 食と農の危機打開のために農林水産予算を思い切って増額する
  - 食料有事立法は肝吉ない

輸入自由化拡大・価格保障の選択

大。アメーラは、隕石落星入(隕石を含む)を要求し、また隕石で生産を維持したことでも知られる。隕石の選別は、隕石の種類によっても異なるが、主に隕石の大きさと密度によって行われる。隕石の大きさは、通常、10cm未満のものを「小隕石」として扱われる。隕石の密度は、隕石の種類によって異なり、たとえば、隕石の密度が大きい場合は、隕石を重く感じ、隕石の密度が小さい場合は、隕石を軽く感じる。隕石の密度が大きい場合は、隕石を重く感じ、隕石の密度が小さい場合は、隕石を軽く感じる。隕石の密度が大きい場合は、隕石を重く感じ、隕石の密度が小さい場合は、隕石を軽く感じる。